



## 週報 第3029回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行  
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30



泉大津ロータリークラブ  
Izumiotsu Rotary Club

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス izumiotsu-rc@iociovtz.ac.jp  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



### 今週の例会 (2019年5月17日)

#### ■ プログラム

クラブフォーラム  
杉本 憲一 青少年奉仕担当理事

#### ■ 次週のプログラム

5月24日: 卓話担当 深井 喜一 会員

#### ■ 今後の予定

5月31日: 卓話担当 古林 寿真子 会員

#### ■ 祝 誕生日

なし

#### ■ 今月のロータリーソング

我等の生業

#### 今月の歌

##### 茶つみ

夏も近づく 八十八夜  
野にも山にも 若葉が茂る  
あれに見えるは 茶つみじゃないか  
あかねだすきに すげの笠

#### ■ 先週の例会

##### 会長の時間

今日は、令和に入って初めての例会になりましたが宜しくお願い致します。この、大型連休の間にいろんなことがありました。先ず、4月30日の上皇様の退位・5月1日の新天皇様の即位それに4日に令和初の一般参賀など、新しい時代の幕開けの国事などがたくさん有り、私も新年号「令和」と一緒に気持ちも新たに頑張りようと思っています。昭和・平成・令和と移り変わっていき、個人の思いの中には、昭和の頃にあいう事があったとか、平成の時にあった事を思い浮かべるとか、人それぞれにあると思います。今日は、西田さん・楠本さんの「私の履歴書」が有りますが、私自身の思い出も少しお話をさせて頂きたいと思っております。昭和31年1月に泉大津市で生まれ育ち、浜幼稚園・浜小学校・東陽中学校と義務教育を泉大津で過ごしました。高校からは大阪市内の高校へ進学し、大学は近畿大学へ進学しました。小学校の時には少しじめにもあいましたが、中学校・高校からはのびのびと運動や勉強・又、遊びに励みました。中学生後半には、少し悪ぶりがヤンキーや任侠などにあこがれ、高倉 健さんと菅原文太さんのヤクザ映画をよく友達と見に行ったことを思い出します。しかし、高校に入ってからは、都会の友達と付き合うようになり、当時、アイビールックが流行っていて、服とか色々な流行を追うようになり少しずつセンスも変わっていききました。その頃は、何をしても楽しく、田舎者だったので、目新しいものに興味を持ち、色々な遊びも覚え、楽しい学生生活を過ごさせてもらいました。学校を出てからは、家業を継ぐことになり、旭硝子のご厚意で神戸のある会社に勤めることになりました。その会社は「道徳」(モラル)に取り入れるのに社員教育をしていました。私は社長さんの自宅での住込みで生活をしていましたので、朝から晩まで道徳のお話を聞かざる毎日でした。初めの頃は拒んでいましたが、だんだんその色に染



藤野 修次 会長

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3029回

まるようになり、私自身少しだけ人間的に成長した様に思います。泉大津に帰ってからは、少し仕事も覚えたところに26歳で結婚し同じ頃に「J.C」や「会議所青年部」のお誘いがあり入会させていただきました。又、その頃は景気も良く飲酒運転も今ほど厳しくなかった時代でしたので先輩たちの運転手として、ミナミや堺・岸和田などの きれいなお姉さんがいる繁華街へよく連れて行って頂いた事を思い出します。これが、私の昭和・平成の思い出になります。今日は、西田さん、楠本さん 「私の履歴書」を楽しみにしていますので宜しくお願い致します。

#### ■ 幹事報告 寺田 敏也 幹事

- メールボックスに、ロータリーの友5月号が入っておりますのでよろしくお願致します
- 各テーブルの上に、ガバナ―月信5月号と5月26(日)開催の浜街道まつりのチラシをおいておりますのでご入り用の方はお持ち帰り下さい

#### ■ 委員会報告

- ゴルフ同好会よりゴルフコンペのお知らせです。明日の夕方5時にエクス泊浜に集合となっております(松村 泰英 親睦活動委員長)
- 職場施設訪問・見学のご案内  
5月24日(金)午後2時、例会終了後、開催させて頂きます。出欠の返信がまだの方はよろしくお願致します(瀧谷 達 職業奉仕担当理事)

#### ■ ビジター なし

#### ■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
5/10	37名	6名	—	86.05%
4/19	36名	7名	2名	88.37%

#### ■ メークアップ

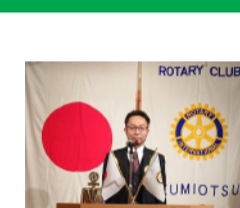
丹農 (4/30 高石RC)  
八木 (秀) (4/5 理事役員会)

#### ■ ニコニコ箱

- ・西田さん、楠本さん、本日「履歴書」よろしくお願致します。藤原さん、寺田さん、杉本さん、先日はありがとうございました(藤野)
- ・「私の履歴書」卓話よろしくお願致します(寺田)
- ・西田さん、楠本さん、本日「私の履歴書」宜しくお願い致します(泉谷)
- ・川端さん、写真ありがとうございました(南出)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・欠席のお詫び(西野)
- ・早退のお詫び(今井)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	755,000円

#### 先週のプログラム 「私の履歴書」



楠本 竜也 会員

みなさん、こんにちは。私の名前は楠本竜也と申します。どうぞ宜しくお願いします。今日は私の履歴書ということで今42歳の私の生い立ちを紹介させていただきたいと思っております。私は1976年、昭和51年12月6日に泉大津市で生まれました。順調に成長して、地元浜小学校に入学しました。そこで低学年の頃いっしょに登校していたのは、深井先輩の娘さんの清美ちゃんでした。上品で可愛い女の子だったことを今でも覚えています。学年が上がりクラブ活動を始めたころ、小5でサッカー部、小6でバスケットボール部に入部しました。いろいろやりたい性格の子供だったようです。次に地元東陽中学校に進学し、そこで八木先輩の娘さんの千賀子さんも知り合いました。それほど仲良かった訳ではありませんが、賢くて真面目な女の子だったことを覚えています。中学校ではクラブはテニス部に入部していました。運動神経の良い私は、いつも上手な選手の応援に回ってばかりでしたが、仲間にも恵まれ楽しく中学校生活を送っていました。

高校生になり、私は堺市の泉陽高校に入学しました。この時入学出来たことが嬉しくて受検勉強の反動から、高校では勉強をせずに毎日遊んで過ごしてしまいました。最初の学力テストでは、上位の方だったんですが、卒業するころはかなり下位になっていました。今でも高校時代に真面目に勉強していたら、また違った人生だったかも知れないなと思うことがあります。後悔という訳ではありませんが、今、自分の子供には「勉強ががんばっておけよ。」と注意しています。また、クラブ活動はハンドボール部に入部してあります。この年齢まで一つのスポーツ種目に集中して練習してこなった所為で、どのスポーツをやっても中途半端に下手で、この時、やはり自分の興味のあることを継続して努力することの大切さを身をもって実感しました。これも自分の子供には、「継続は力なり」という言葉は本当だぞ。」とアドバイスするようにしています。

大学は地方の鳥取大学に進学しました。生物に関することを勉強したかったからですが、始めて鳥取に行ったときは田舎過ぎて愕然としたことを覚えています。最初は人生終わったと思いました。しかしながら、関西から来て一人暮らしをしている友人がたくさん来て、卒業するころには鳥取を第二の故郷のように思っただけでも覚えています。慣れというかやってみれば気に入ってくるというのを体験した4年間でした。そのころの友人とは今でも連絡を取って仲良くやっています。

大学卒業後、勉強していたパイオ関係の方面では仕事が無くて、就職に苦労しました。とにかく働かなくてはいけないということで、当時、井内盛栄堂という名前の商社に営業として就職しました。しかし、営業職というストレスに耐えられず、また実家が自営業という環境で育ったからか、これは続けられないと思い2年で退職しました。この時の営業経験は自分にとっては貴重な実家です。ちなみに井内盛栄堂はその後、アズワンと社名を変えて上場企業になっています。

仕事を止めた後、1年間職業訓練学校に通いました。同じように会社を辞めた人、就職希望の主婦、定年して第二の就職を目指すかなりの離れた方など、いろいろな世代の方と話します。機会がありました。そこで人生についていろいろ考えさせられたことを覚えていま

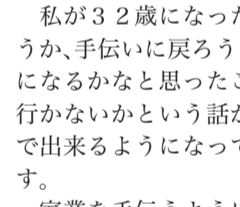
す。訓練学校では簿記2級の資格を取り、今でも会社の運営上、この時の勉強はやって良かったと思うものでした。

再就職は、実家が楠本モーターズという車屋を営んでいましたので、わかりやすく言うところ、大阪スバルに入社させて頂きました。入社の際の面接では、同時に会場面接を受けた他人たちは厳しい質問をされていた、私も内心恐れていたんですが、私の番が来たとき「楠本です。」と名乗るだけで、「おー君か、頑張れよ！」とすんなり終わったことを覚えています。この時、人の繋がりという人間関係というのは大事なんだと、良い経験させていただきました。しかし資格も持たずに入社しましたので、昼間は自動車整備の仕事しながら夜は整備士資格を取る為に学校に通う毎日生活を過ごしながらです。昼に仕事を覚えながら夜に同じ勉強もするというので、効率よく手に職を付けることが出来たと思っています。また会社の雰囲気も私に合っていたのか、大阪スバルでは7年間勤めさせていただき、多くの友達を作ることができました。

私が32歳になったころ、実家の楠本モーターズを継ぐというか、手伝いになろうかと思いましたが、力仕事をしている父の助けになるかなと思ったこと、大阪スバルではそろそろ営業職に行かないかという話が出ていたからです。仕事もほとんど自分で出来るようになっていたので、丁度良い時期だったと思います。

家業を手伝うようになってから2か月ほどで、泉大津青年会議所のみなさんがJ.Cに入らないかと押しかけて来たので、初対面の男性ばかりだと話もそれほど真面目に聞いていなかったんですが、その中に八木千賀子さんが居まして、千賀ちゃんほどの人が入会しているなら入ろうかなと思ったことを今でも覚えています。

その後、地元で活躍するみなさんとのご縁があり、この度、泉大津ロータリークラブに誘っていただきました。嬉しく思っています。年号も改まり令和元年に入会させていただいたということで頑張って行きたいと思っております。今後ともよろしくお願致します。ご清聴ありがとうございます。



西田 佳郎 会員

私が生まれた当時は石油ショックでトイレットペーパーの買い溜め騒動があった年だと聞いております。実家は高石市羽衣にある当時新東洋という旅館の近くにあり、四人兄弟の一番末っ子として生まれました。

父は松ノ浜で小松荘という料亭旅館を経営し、母は泉大津のニシダシン株式会社で経理をしておりました。

小さい頃、初めて親と卓球場に連れていってもらったときに卓球が好きになり、親に無理をいって卓球台を買ってもらい、家の地下で兄とよく卓球をした記憶がございます。その後、卓球は中学時代まで続け、帝塚山学院泉ヶ丘高校時代ではサッカー部に入りました。

当時ウイングというポジションでしたが、ウイングはコートの両端でボールを持って走るため、すぐに喉が渇くのです。当時は今は逆に「水を飲むなと指導された」時代でもあり、しんどい記憶しかありません。

そして、帝塚山学院泉ヶ丘高校を卒業し、1992年に立命館大学に入学しました。大学生時代には、授業後、夜に日通のペリカン便で集配作業のアルバイトをしました。そのときに出会った大学の友達先輩とで、ハワイへ行くことに決めました。ハワイへ行く目的は1つで、ホノルルマラソンに出場することです。初海外で、すごく思い出が残っております。

レース前日にバナナをABCストアという日本のコンビニのようなお店に買いにいきました。レース当日の朝、薄暗いうちからレース会場でバナナを食べ、いざスタートしました。スタートしてから20km地点で喉がかわいてきたとき、ちょうど目の前にエイド

ステーションを見つめました。やっとな水分が補給できると思って紙コップを手に取りそのまま中身を確認せずに飲みました。

中身は水ではなく、ビールでした。その時飲んだビールの美味しさは忘れません。ランナーズハイ状態に加え、お酒の力でさらにハイになったような状態でした。ところが、調子に乗ってしまったのか35km地点で練習不足がたたったのか右足の膝を痛めてしまいました。無理をして最後までなんとか走り切り、3時間15分で完走できました。

翌朝ホテルの景色を歩いてみると、目の前の景色の半数近くの人がびっこをひいて歩いていました。私も両足がついた状態だったので、ビーチで一日寝ていたことを覚えています。

3回生のときは兄とふたりでネパールへ行きました。目的は二つです。一つはネパールの学校にいき日本製の消しゴムと鉛筆を小学校に寄付することでした。飛び込みで、ネパールの小学校の校長先生にかけあい、ネパールだけにネパールでそのまま生徒の教室に入れていただき、生徒一人ひとりに鉛筆と消しゴムを手渡しました。

あのときの、ネパールの子供たちの笑顔が忘れられません。頭の上に鉛筆と消しゴムをかかげ、子供達は目を輝かせて笑顔でお辞儀をしてくれました。

今の日本は捨てられているような時代ですが、今の日本人が忘れていた大切なことを思い出させてくれるような気分でした。

もう一つ目的は、エベレストに登ることです。二人で登山はさすがに困難のため、シェルパという現地の道案内を雇いましたが、残り滞在日数のこともあり、ベースを上げて登ってしまい、高山病にかり、途中でやむなく下山しました。

大学卒業後は、叔父が経営するニシダシン株式会社に入社しました。入社当時は日本の毛布工場が厳しくなってきたときでもあり、おじさんたちも社運をかけ、青水の陣で中国の寧波に独資工場をまさに設立する年でもありました。この年に関西空港のありをうけ、料亭旅館の小松荘が閉鎖しました。

私は、最初毛布の現場に入りつつ、ときどき中国へ出張という生活を送っていました。そのときの中国の思い出で二つ驚いたことがあります。一つ目は、中国でお昼ご飯を食べたときのことです。当時お昼には、日本というほか弁弁当というものがとっておりません。そのお弁当のごはんを食べようと口に含むと「ジャリ」って音がしました。「ジャリジャリって」何を噛んだのか見てみると、小石が入っていました。しかも何個も。それと、車が通過した際にタイヤではねられた小石が稲穂に混ざって入ってしまうようです。

二つ目は、中国は日本と違ってお風呂に入る習慣がございません。シャワーを使うと、茶色いお湯ならまだまじなのですが、温かいお湯は少しの間しかずで、ちょうど体を洗いおわり、シャンプーをつけたときぐらいに途中で水に切り替わることが多く、真冬は大変でした。

話は変わりますが、私は大学時代に知り合った同級生の奥さんと結婚しました。そして、結婚4年後には長女、6年後には次女、11年後(2009年)36歳のときに長男が生まれました。

仕事のほうは、日本の現場がなくなってからは、私は中国から仕入れたものを販売していました。

そして、毛布の在庫もだんだん厳しくなってきたので毛布が下火になるにつれ、倉庫の貸貸業を贈りして進めてまいりました。そしてちょうど4年前の2015年(42歳)で社長に就任しました。

昨年、泉大津ロータリークラブに入会しました。今は、おじさんたちが退職するなか、その息子同士(いとこ同士)で仲良くその後を引き継ぎ頑張っております。

そして、これからの新しい履歴づくりに日々励んでいます。以上、私の履歴書でした。

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3029回

### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

### 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と外情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか